

大潟村 議会だより

vol.164

2026年(令和8年)
7月16日発行



大潟漕艇場にて

大潟地域クラブ「チーム大潟ローイング」の中学生も参加した
秋田県民スポーツ大会(6月28日)

6月

定例会

会期 6月10日～16日

発行：大潟村議会(TEL 45-2587 / FAX 45-2266)

編集：議会広報編集委員会

《ホームページアドレス <https://www.vill.ogata.akita.jp/genre/parliament>》

議会動画
配信中

議会の動画配信がパソコン・スマートフォンで見られます。
村ホームページからアクセスできます。議会だよりとあわせて
動画もご覧ください。

●令和8年6月定例会……………	2
●議会常任委員会審議……………	4
●一般質問6名……………	6
●総括質疑……………	9
●審議結果一覧……………	11
●村のあの人この人……………	12
●6月議会傍聴者アンケート……………	12

特別会計補正予算・条例改正等可決

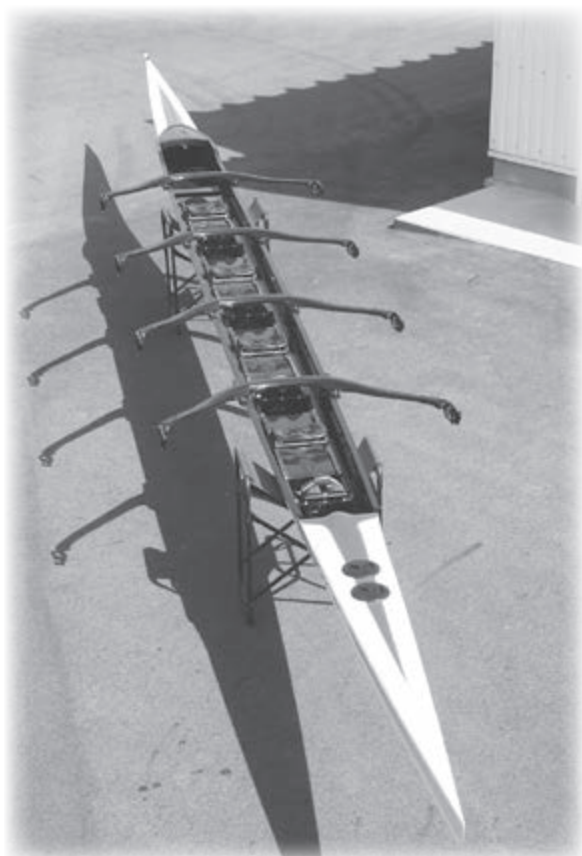
一般会計

▶ 補正予算額	1,533万9千円
▶ 補正後の予算総額	65億6,576万8千円

介護サービス 特別会計

▶ 補正予算額(1会計)	396万円
▶ 補正後の予算総額	3億663万2千円
※歳出の主なもの	
・ ひだまり苑等管理運営事業（エコキュート修繕工事）	

競技用ボート購入費 (新型艇の導入)



501万4千円
(スポーツ振興くじ助成金
320万8千円を活用)

ボート合宿誘致事業 コース・ブイ設置撤去等 業務委託料 520万円



こども家庭センター 整備事業 592万9千円



保健センター内に設置予定



関連ページ：P5、P9

議員発議

● 地方自治法の改正を求める意見書案 可決

地方自治体の長が、病気や事故により意思表示できない状況下での辞職に関して、議会の不信任議決や住民の解職請求によらない法令の整備を早急に求める。

条例関係

● 大湊村国民健康保険税条例の一部改正

子ども子育て支援制度の創設及び課税限度額の引き上げ、税率の改正

財産取得

● 教育用タブレット
パソコン217台買入

契約関係

● 防災行政無線更新
工事の契約締結

人事案件

● 教育長の任命についての同意

現教育長 三浦 智氏再任 任期は3年

教育長の任命 同意

反対討論 三村 敏子 議員

令和8年度のこども園入園手続時に広がった保護者からの不安の声は、教育長、教育委員会の考え方が、影響しているのではないかと。配布された「教育委員会とこども園からのお願い 私達の思い」、には、社会性は3歳からの1号認定でも十分身に着けることができる。家庭での家族と過ごす時間を増やして欲しい。パパママと過ごす時間が生活習慣のいしずえを培い、心の安定をもたらす、家庭教育という観点でも重要な唯一無二の時間と考えている。こどもは3歳までは家庭で過ごすのが、一番良いと思えるような内容となっている。近年の研究では、子どもが3歳未満のときに母親が就労し保育園等に預けても、子どもの発達には影響を及ぼさない、また3才までの子どもを預けた場合社会性が高まる、自分でできることが増える等いわれている。厚労省では、保護者が子育てについての第一義的責任を有するとあり、こどもを育てるのは家庭が一番良いとはなっていない。

子育てと仕事が両立でき、だれもが楽しく子育てができる村であって欲しいと思う。これからこのような教育長、教育委員会の考えでこども園が運営されるのであれば、保護者がどうしたらいいのだろうか、3歳までは、家で育てた方がいいのだろうか、こども園に預かってもらえるのだろうかと不安になりかねない。

考え方は人それぞれだが、私の考え方がかわらないのと同じように、教育長の考え方も変わらないのではないかと。議案第34号教育長の任命について反対する。

臨時会(5月14日) 次の件について、可決・承認しました。

- ・ 工事請負契約の締結（村民体育館改修）
- ・ 一般会計補正予算（ICT教育推進事業タブレット購入費増額）
- ・ 村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告（住民税各種控除の見直し・固定資産税免税点の引上げ・軽自動車税環境性能割の廃止等）

議会常任委員会審議

● 各常任委員会での質疑応答の主なものを掲載 ●

生活産業常任委員会

委員長 工藤 勝



戸別受信機の希望調査の結果は

工事請負契約の締結について

問 プロポーザル審査というのは、どのような流れになっているのか。

答 プロポーザル募集の段階で村の要求水準書に対し品質を担保するために、最低制限価格を設定するのが望ましいと判断している。あわせて予定価格を公表しており、それぞれの入札参加者に要求水準に基づき積算をしていたいただき、プロポーザル審査の際に見積金額を提出する形を取っている。

問 現在使っている防災行政無線と比べて、性能が大きく変わっている点は。

答 内臓バッテリーが現在のものよりも長寿命化されている。運用の中で劇的に変わるものは、現在消防本部からの情報は音声のみ防災無線から流れるが、LINEやその他のASPサービスに登録することにより、文字情報で火災や地震、Jアラートの情報などが流れるようになる。

問 戸別受信機の希望調査の結果は。

答 申し込みした世帯は400世帯で、不要と回答し

た世帯は30世帯であった。調査票を見ていない世帯も相当数あると想定しており、今回

の工事では700世帯で積算している。

総務福祉教育常任委員会

委員長 松雪 照美



こども家庭センター開設

総務企画課部門

問 国民健康保険税の改正において、子ども子育て支援増額分を医療分で調整減しているが、他市町村の状況は。

答 村は7年度所得向上により、新設された子育て支援分を吸収するような配分とした。他市町村とは同じではない。

問 旧物産公社の修繕の内容は。

答 窓サッシ部分の貼り込み、倉庫内に入る砂埃のカバー、排水管廻りの碎石敷きが工事内容である。

問 職員の残業についての規定は。

答 1カ月当たり45時間、年間360時間を上限としている。時期により業務量が集中し、規定の時間を超過した場合、所属長が状況・健康状態を村長に報告する。

福祉保健課部門

問 こども家庭センター統括支援員の募集が会計年度職員とのことだが将来的に正職員対応にすることは考えていないのか。

答 まだ公募前であり、先のことは描いていない状態である。

開設までに統括支援員の基礎研修を職員で受講し、支援員に足る素養を備える者を準備する。

教育委員会部門

問 今回購入するタブレットは1台あたり6万円を超えるが、価格は適切なのか。

答 昨今の物価高騰情勢の中ではあるが、共同調達プロポーザル審査によるスケールメリットも働き、6万7千円程度で抑えられたと考える。

問 ①ボート合宿誘致事業
コース・ブイ設置撤去等業務

委託料が520万円となっているが、これは最低限の金額か。

② シーズン終了後に撤去となっているが、残してはおけないのか。

答 ①その通りである。②今年度は設置と撤去を予定している。来年度以降は、県の南部排水機場と相談の上検討する。

問 食器食缶トレイ洗浄機の修繕工事に関して、洗浄機の耐用年数は。

答 通常は20年だが14年目に故障が生じた。年2回の点検清掃を行っているが、頻度を上げていくことも視野に入れている。

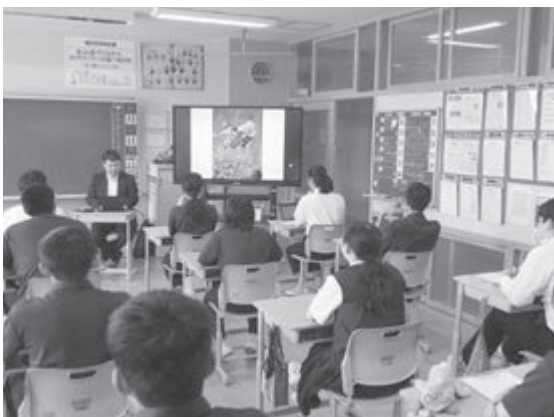


議会活動について 松橋拓郎議員講話

令和8年度 総合的な学習の時間「大中キラキラ塾」
中学3年生対象「先人から学ぶ」講話
6月1日 大湊中学校

総合的な学習の時間において、中学3年生が「模擬議会」の実施に向けて学習を進めています。大湊村の現状や課題について理解を深め、自ら考え、意見をまとめる活動に取り組む予定です。

その導入として、大湊村議会議員として議会の役割や仕組み、議員として大切にしている考えや思い、村の現状や課題、地域づくりについて若い世代に期待することなどについてお話ししました。



村政を問う



菅原アキ子 議員

詳細は
コチラ



Q「市民後見人」の養成に取り組むべきでは

A育成・支援も視野に進める

問 親族以外の成年後見人などを担ってもらえる「市民後見人」の養成や活動支援に取り組んでいる自治体が増えている。

研修を受けた村民が後見人として活動できれば、同じ村民の目線からその人に寄り添い、見守ることができる。

高齢化が進んでも、安心して暮らせるように、担い手の養成に取り組むべきでは。

答 村長 村では、今年度から社会福祉協議会内に「大潟村成年後見支援センター」を設置する予定である。初年度は、制度の啓発や広報、相談支援、利用促進などを行い、今後は市民後見人の育成、支援も視野に、制度の利用促進を進めていきたい。

Q 村のさらなる活性化を図るには

A 商工業者や各種団体と企画段階から連携していく

問 桜と菜の花、ひまわりなどを見にきてくれる人たちに、村内にも入っていただく工夫や、新米まつりでも村内や施設等への誘導など、事業者との連携を深めていくことで、経済効果も高まるのでは。

経済効果も勘案しつつ、村のさらなる活性化を図る手立ては。村の魅力を深めてもらう「体験交流」を行う考えは。

答 村長 会場内だけで完結させないためにも、村内の商工業者や各種団体と企画段階から連携し、来場者が村内を「巡る理由」を意図的に創出する工夫を検討していく。

村の農業は、外に誇れる産業であり、体験交流は、いろいろな形で積極的に取り組んでいきたい。



カタマルシェも村の活性化に



松雪 照美 議員

詳細は
コチラ



Q 中東情勢等に起因する燃料・資材価格高騰への危機管理は

A J A と連携を取りながら一体となって不安を払拭していく

問 春先の燃料供給不足や価格高騰が、秋の収穫期に再び高まる懸念されている。村民の不安軽減のため、情報発信や相談体制の整備を行う考えはあるのか。

また村独自の支援策または、県への要望の考えは。

答 村長 J A とは対応について、随時情報を共有していた。秋の収穫



燃料の安定供給は

期に向けても連携を取りながら不安払拭に努める。村独自の支援は財源確保の観点から難しいが、今国会で成立した補正予算がどのような形で活用できるのかについて注視していきたい。

Q 地域行事に補助金の増額を

A 慎重に判断する必要がある

問 村の行事を支える寄附金や協賛金、会費は近年個人の意思というより予め決まった金額になっている場合が見て取れる。それらを遠慮したいが近所付き合いのため断れないといった声もある。寄附金、協賛金、会費は強制ではない。金額の多寡や心理的に不安が生じる金額は地域コミュニティの維持に逆効果となる恐れがある。

村の補助金を増やす、協賛金の透明化、予算規模の見直し、参加者負担の整理など検討を求める。

答 村長 寄附金等を村の補助金の増額で補完することは慎重に判断する必要がある。地域行事は村の活性化やコミュニティの維持に欠かせないものであることから、時代に合った運営方法を模索していくことも重要である。今後、持続可能な地域づくりに向けて、各団体に無理のない協力依頼のあり方について、情報提供を行うなど努めていきたい。

村政を問う



大井 圭吾 議員

詳細は
コチラ



Q ネットを利用した交流人口促進から担い手対策を

A 関係団体と課題を共有し、検討を重ねたい

問 ホームページを有効に利用し、本村及び本村の農業に興味を持った人を村に呼び込む取組みを地道に進めてみては。

答 村長 担い手確保の対策を進めるには、JAや各企業、団体との連携が欠かせない。担い手確保に関する課題については、各方面からその重要性が指摘されており、まずは関係団体との間でしっかりと課題を共有し、大潟村としての担い手対策の方向性について、足並みを揃えて検討していきたい。

Q 菜の花ロードの公共交通機関の安全対策と利用促進を

A 観光客の安全確保は重要。公共交通の利用促進も検討したい

問 大潟富士前バス停の八郎潟方面側は、バス待ちの人への安全性に配慮がない。また、桜の時期以外の年間を通した路線バス利用の観光者を誘致する企画を進めては。

答 村長 桜と菜の花ロードは、本村を象徴する観光資源である。観光客の安全の確保は重要な課題であり、桜と菜の花の開花時期に限定し、簡易バス停の設置や、駐車スペースの拡充が可能かを県及びバス会社と協議したい。

また、公共交通の利用促進につながる方法を多方面から検討してみたい。



バス利用者の安全対策を



齋藤 牧人 議員

詳細は
コチラ



Q 会計年度任用職員の任用時に業務内容の説明をすべき

A 課題については他自治体を参考に改善を図る

問 会計年度任用職員の人事運用について、任用の内示から発令に至るまで、配属される業務の説明がなされないのは職員の不安や不満を増幅させ、村政の運営に悪影響を及ぼす恐れがある。また、職員の希望や家庭状況などを履歴書の形で調査しているが、一部では人事上不利な点がある恐れがあるためあまり書かないという良好という理解がされており、十分に役割を果たしていない。これらの課題を解決するよう人事フローの改善を行うべきである。

答 村長 会計年度任用職員の人事については当局が本人の適性および



業務に必要な会計年度任用職員

希望を鑑み、全体として最適になるように配置をしている。任用の内示が2月初旬、配属の決定は3月中旬となっており、説明面談および人事の調整を行うには時間的に厳しい状況にある。指摘の事項については他自治体を参考に改善を図りたい。

村政を問う



黒瀬 友基 議員

詳細は
コチラ



Q 自治体を越えた小・中学校の統合は

A 広域統合を具体的に検討する段階ではないと考える

問 文部科学省が有識者会議のまとめを踏まえ、「1小・1中」の自治体において近隣市町村と連携した統合協議を促すとの報道があった。

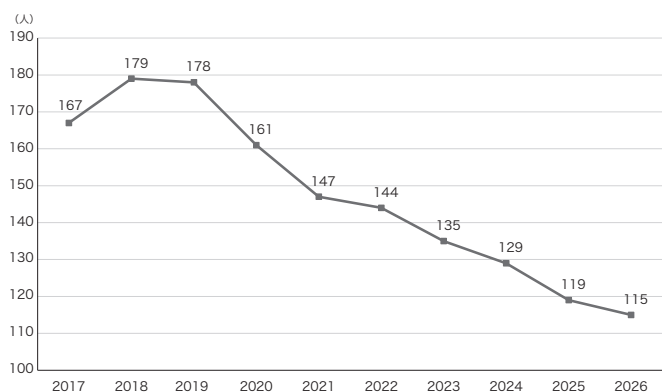
広域化によるメリットもあるが、「郷土愛を育む学校教育の推進」を掲げ特色ある教育を推進してきている村として、今回の文部科学省の方針をどう捉えているか。

答 教育長 本村では、学校は教育施設であるとともに開拓の歴史を次世代につなぎ、保護者・地域の連帯感を醸成する場でもあり、この地で学び地域の歴史や文化を継承することが、本村の持続可能性において極めて重要であると考えている。教育委員会として、現時点で広域

統合を具体的に検討する段階にはないと考えており、まずは本村の子どもたちにとって何が最善の学びかという視点を堅持し、村内での教育環境の充実に注力していく。

一方、小規模校の仮題である多様な人間関係の構築や集団活動の機会確保といった点は、学校の統合ではなく周辺自治体との機能的な連携によって補っていくことが可能であると考えている。

村の学校は維持しながらも、広域的な連携を柔軟に取り入れることで、小規模校の強みを最大化し、弱みを補う教育環境を整えていく。



年々減少している大湊小学校の児童数



村に適した子育て支援は

問 ファミリーサポート（ファミサポ）事業として農繁期の祝日の預かりを行う場合の課題は。また、村民の自主的な子育て支援活動への支援のあり方は。

Q ファミサポの課題と自主的な活動への支援は

A 村に適した子育て支援を検討する



松橋 拓郎 議員

詳細は
コチラ



答 教育長 村内公共施設を活用する場合は安全面や衛生面に課題がある。ファミサポ事業は会員間のマッチングをサポートする制度であり、提供会員の確保、安全管理体制の整備、研修の実施、事務局の確保等が課題となり得る。

行政として運営する事が難しいが、村民間の自主的な子育て支援活動に対して情報提供や助言、公共施設利用に関する相談対応など協力できる可能性はある。

Q 大湊漕艇場の今後の整備は

A 必要最小限の整備を続ける

問 ボート合宿のモニターツアーが実施され、非常に高い評価を受け、今夏の日本代表の合宿も決まったが、今後のさらなる合宿誘致に向けた整備の意向は。

答 教育長 合宿誘致を始めた当初は、現状のままで誘致してきた。約20年間環境整備をしておらず、施設や用具は老朽化しているため、必要最小限の環境整備が必要と考えを改めた。また、村民のボート競技に対する盛り上がり醸成していく事も大切だと考える。

総括質疑



◆こども家庭センターの設置について

問 子育て支援センターとの関係はどうなるのか。福祉保健課が行っている児童手当等の補助金関係は、今まで通りか。

答 福祉保健課長 子育て支援センターは子供の遊び場としての機能を中心。児童手当等の事務は、児童福祉の担当者が保健センターと兼務して行う。こども家庭センターは、相談支援が中心となる。

◆熊の出没状況について

問 ①村民の不安の声があがっているが、村に出来ることは何か。箱わなの設置状況はどうか。②総合中心地内で熊が目撃された場合の学校への対応は。③最新ドローンは上空から赤外線搭載カメラで追跡ができ、スピーカーが付いて、犬の鳴き声やサイレンを鳴らしたりして、熊を追いつけることができる。検討している。④LINEで熊出沒の情

報が流されておりありがたいが、登録者数は伸びているか。

答 産業振興課長 ①熊の目撃通報者からの情報を、猟友会及び警察に連絡し、防災無線・LINE等で住民に周知している。また、猟友会・警察・役場職員が巡回を行っている。箱わなは、現在まだ設置していないが、必要があれば設置する。②教育委員会に連絡している。警察からも目撃情報があった場合、学校を通じて連絡が入ったりする。③県でドローンを使った捕獲



おいしいな 村産米

◆学校給食の食器洗浄機について

問 食器洗浄機故障への対応は。

答 教育次長 水漏れが発生

に関する会議があるので、検討していきたい。ドローンとは別だが、監視スクープのカメラを購入する準備をしている。④1023名の登録者数である。高齢者向けLINE登録教室のようなことができればと思う。

◆村・カントリエレベーター公社・東洋ライスの連携協定について

している故障である。なんとか使っているが、水漏れにより、漏電や不完全燃焼の危険があるため、修繕する。

問 連携協定を結んで、米に高付加価値を設けると謳っているが、どんな考えを持っているのか。

答 村長 金芽米という胚芽が残った白米で栄養価も高く健康にもよい。学校給食に提供している。村の道の駅やホテルでの販売、県内の他の給食でも使うということで、カントリーは受託精米も始めている。村産米の付加価値を高め村内事業者とも連携しながら取り組みたい。

◆スポーツ合宿等について

問 スポーツ合宿では、秋田県は他に比較して気温が低く乾燥しているため、気候の面で日本においては優位性があ

るのでは。また、スポーツ施設・宿泊施設がある周辺市町の三種町や男鹿市と連携しては。

答 教育長 ボート場を含め、村ではスポーツ施設はかなり充実していると思う。周辺と協力しながら、今後視野に入れて検討する余地はある。

◆クリーンアップについて

問 今回は熊が出たことにより中止となったが、時期を早める等検討が必要では。

答 生活環境課長 4月上旬に開催している市町も多い。3月下旬から4月上旬という提案は、熊の目撃情報がなければ、草も繁茂しておらず、参加しやすい時期かと思うので、検討したい。

◆包括連携協定について

問 ①協定を結ぶ際、方向性やテーマや具体的協議等、どのような結び方なのか。②明治安田生命との連携協定は

ボート部がここ数年合宿に来ているが、そのことと関係しているのか。

答 総務企画課長 ①特定の目的を持って、あるいは方向性・共通認識を持って協定を結ぶ、などがある。人口減少や自治体財政が縮小していく中、多様なところと連携を組む事は大切である。②明治安田生命は以前から全国1100を超える自治体と連携を結んでおり、地域の元気を創造するプロジェクトを進めている。

◆桜と菜の花まつりについて

問 菜の花の生育が例年よりも良くなかったが、何が原因だったのか。生育が悪いようであるとすれば、菜の花にこだわる必要はないのでは。

答 産業振興課長 今年の生育の悪さがどこにあったのか、現状では把握していない。来週会議があるので、耕心会と意見交換したい。菜の花に代わるものを植えるのは、村に定着した桜と菜の花まつりな

ので難しいが、生育状態が悪くなってくるのであれば、考えなければいけないかと思う。

◆西1丁目3番地の宅地分譲進捗状況について

問 26区画中21区画が売却済み、新しい分譲地を早急に対応していかなければいけないのでは。村内の空き地等を村が買い上げて分譲地としては。

答 総務企画課長 村営住宅入居者の分譲地購入により、村営住宅が10戸くらい今後空いてくる。また、東3の4情報発信者住区の一部を分譲していきたい。新たな宅地造成は計画していない。空き家・空き地について、村が買い上げすることは考えていないが、宅地分譲が一段落すれば、使いやすい制度にしていく事に取り組む必要があると考えている。

◆相撲合宿について

問 「村を代表するイベントの一つとして育てていきたい」とのことだが、今後継続するのであれば、どのような形の位置づけとするのか。

答 総務企画課長 秋田魁新報社の特別協賛もいただいた。メディアを通して村を外に広める効果はあると思う。開催経費は課題だが、いろいろなところと連携・協力し、村を代表するようなイベントに育てたい。



続々と建設が進む西1丁目3番地分譲地

【お詫びと訂正】

前回号「議会だより vol.163」において誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

○P 8 常任委員会審議の記事中

問：常勤の特別職職員の給与改正は。

答：現在の村長報酬が62万円から

70万8千円（誤）になる。

71万3千円（正）

令和8年第2回(5月)臨時会審議結果一覧

【○】:賛成 【×】:反対 【議】:議長 【欠】:欠席
【棄】:棄権 【除】:除斥 【不】:議場に不在

議案等	議件番号	議件名	議決月日	議決の結果	評決者数	賛成者数	反対者数	松本正明	菅原アキ子	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎	菅原史夫	齋藤牧人	松雪照美	三村敏子	大井圭吾	工藤勝	丹野敏彦
当局提出	議案第27号	工事請負契約の締結について	5/14	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第28号	令和8年度大潟村一般会計補正予算案	5/14	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	報告第3号	大潟村村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	5/14	承認	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

令和8年第3回(6月)定例会審議結果一覧

【○】:賛成 【×】:反対 【議】:議長 【欠】:欠席
【棄】:棄権 【除】:除斥 【不】:議場に不在

議案等	議件番号	議件名	議決月日	議決の結果	評決者数	賛成者数	反対者数	松本正明	菅原アキ子	川渕文雄	黒瀬友基	松橋拓郎	菅原史夫	齋藤牧人	松雪照美	三村敏子	大井圭吾	工藤勝	丹野敏彦
当局提出	議案第29号	大潟村国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第30号	工事請負契約の締結について	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第31号	財産の取得について	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第32号	令和8年度大潟村一般会計補正予算案	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第33号	令和8年度大潟村介護サービス事業特別会計補正予算案	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第34号	教育長の任命について	6/10	同意	11	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議
	報告第4号	令和7年度大潟村一般会計繰越明許費及び事故繰越し繰越計算書報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議
	報告第5号	令和7年度大潟村公共下水道事業会計繰越計算書報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議
陳情等	陳情第3号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	6/16	採択	11	10	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	陳情第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	6/16	採択	11	10	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	陳情第5号	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	6/16	不採択	11	0	11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
	陳情第6号	ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書	6/16	不採択	11	0	11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
議員提出	意見書案第1号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書案	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	意見書案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書案	6/16	原案可決	11	10	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	発議第2号	地方自治法の改正を求める意見書案	6/16	原案可決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
		議員派遣の件	6/16	議決	11	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

各種団体・グループ等からご要望があれば、議員が出張懇談会に伺います。
議会事務局までお知らせ下さい。



デリカテッセン紅玉
高橋 紅さん

大潟村に事業所を構えてから、1年半が経ちました。横手市が本社の会社は元々衣料品を取り扱っていましたが、前社長が「自分のやりたいと思う事業を、責任を持ってやれ。」とのことで、ただ漠然と興味があった「食」の事業をやってみようと、慣れないながらも計画を立て始めたのが2008年でした。

コンセプトは「丁寧な生活を支える会社になる。」を軸に、色んな場面での食の提案をしてきました。そして大雪害、東日本大震災、コロナ、戦争など社会情勢が目まぐるしく変わる中、常に何が世の中で求められていることなのか、無我夢中で探してきました。

私達が行きついたことの一つは、第一次産業の強さでした。大潟村はまさに農業の強さを見せてくれた様に思います。そして食べていくことの大切さ「丁寧な暮らしの豊かさ」をここから多方面に発していきたいと思っています。

6月議会

傍聴者アンケート

傍聴者アンケートの結果を報告いたします。4名より回答いただき、誠にありがとうございました。どうぞ皆様お気軽に傍聴においでください。

問1 本日議会を傍聴された理由を教えてください。(複数回答可)

- 村議会や村政に関心がある 4名
- 今定例会に提出されている議案に関心がある 2名
- 議員の質問に関心がある 4名
- 議員や知人に誘われた 1名
- 議員の応援のため 3名

問2 発言の内容についてどう思いましたか

- 議員の発言
- 理解できた 3名
 - おおむね理解できた 1名
- 村長等の発言
- 理解できた 1名
 - おおむね理解できた 2名
 - あまり理解できなかった 1名

感じたことをお聞かせください。

* 子育て環境をよくしようと考えているのか？必要最低限のスタンスでいたいという考えなのか？やる気を感じない。これ以上子育て環境をよくしようと本気で思っているのか？やる気ゼロに感じた。残念だ。

* 検討します等の答弁が多く具体的な答弁が少なく感じた。

問3 今後も傍聴したいと思いますか。

- また傍聴したい 4名
- なぜそう思われたのかお聞かせください。
- * 議会だよりの文字では感じられない議会の雰囲気や議員さんや議長・村長の表情なども見たいから。
 - * 今後の生活に影響のあることを話し合っていると感じたから。
 - * 一村民として関心がある。

問4 議会・議員に期待することは何ですか。(複数回答可)

- 村政へのチェック 4名
- 積極的な政策提案 2名
- 村民の声の反映 4名
- 議会だよりの充実 1名
- ホームページ等を活用した情報発信 1名
- 報告会や懇談会の開催 2名

問5 本日感じたことや、村議会全般についてご意見がございましたら、ご記入下さい。

* 人口減少の中、いろいろな取り組みが必要と思っている。村議会での活発な話し合いを期待している。

* 議論された事への回答が「検討します」が多かったので、その後の進捗状況が気になります。議員さんや役場に聞けば教えてもらえるとは思いますが、例えば議会だより等で進捗の報告もしくは、村民より気になる議論のその後を聞きたいコーナーを設けて知れる場があると良いと思いました。

* 村民の見知らぬ時にも村のために活動してくれている議員の方々には感謝しています。ありがとうございます。が、そうしたなかで村のために村民のために、年4回の村議会中に意見や疑問、提案を毎回のようにしてくれる方と、ほとんどしない方があり、差を感じています。ぜひたくさんの方の考えをお聞きしたいと思います。女性陣は、よく頑張っていると思います。

* 村単独でできないなら、男鹿市や八郎潟町と連携して、村の空白地帯となっているサービスの提供を受けられるようにして欲しいです。

編集後記

頻発する地震、ダブル台風、ゲリラ豪雨、線状降水帯による洪水、干ばつによる大規模林野火災などこの半年間でも様々な災害が発生し、自然の猛威をまざまざと感じました。

防災対策は自助・共助・公助が三本柱と言われています。特に共助には地域コミュニティが不可欠です。時代の流れ、世代交代による価値観の変化など難しい面もありますが、地域の被害をより少なくするために防災の面からも地域コミュニティをどうしたら良いか真剣に考えることが必要ではないでしょうか。

(議会広報編集委員 菅原 史夫)